

埼玉新聞社杯争奪 2026
埼玉県社会人チーム対抗ゴルフ選手権大会
令和8年9月12日(土) 高麗川カントリークラブ Tel.042-989-3131
使用ティ 男子：ホワイトティ(5946ヤード) 女子：レッドティ(4788ヤード) Kグリーン

◆ローカルルール

1. アウトオブバウンズの境界は、白杭をもって標示する。
2. 修理地は青杭を立て、白線をもってその境界を標示する。
3. コース内の池はすべてアウトオブバウンズとし、その境界は白杭をもって標示する。
4. ゼネラルエリア内の樹木の支柱、金網、舗装された道路等の構築物は動かすことの出来ない障害物とする。
5. 舗装された道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
6. 樹木保護の為に巻物施設(巻網など)は樹木の一部とみなす。
7. グリーンから2クラブレングス以内にある固定スプリンクラーヘッドについて、球がその固定スプリンクラーヘッドから2クラブレングス以内にあるときに限って、物理的な障害がなくてもプレー線上に介在しているときは、罰なしに球を拾い上げ、ホールに近づかず、そのような障害が避けられる、ハザード内でもグリーン上でもない場所で球があった箇所に最も近い地点を定め、ドロップすることができる。(その際、球を拭うことが出来る。)
8. 目的外グリーンにカラーの部分を含むものとする。
9. 現にプレーしているホールの白杭を結ぶ線を越えていった球は、球が、ホールとホールの間の白杭を結ぶ線の向こう側に止まっている場合でも、アウトオブバウンズの球とする。
10. コース内の電磁誘導カート路は、全幅をもってカート道路とみなす。尚、軌道の間に停止した球をストロークすると電線を切断する恐れがあり、プレーを禁止する。
11. ローカルルールひな型 E-5 プレーヤーの球が見つからない、あるいはアウトオブバウンズであることが分かっている、または事実上確実な場合、そのプレーヤーはストロークと距離に基づいて処置するのではなく、次のように処置することができる。
2 罰打を受け、プレーヤーはこの救済エリアに元の球か別の球をドロップすることによって救済を受けることができる(規則 14.3 参照)

推定した 2 つの基点:

a. 球の基点:元の球が:

コース上に止まったと推定される地点。または、
アウトオブバウンズとなったときにコースの境界線を最後に横切ったと推定される地点。

b. フェアウェイの基点:

- ・球の基点に最も近く、しかし、球の基点よりホールに近づかない、プレーしているホールのフェアウェイの地点
このローカルルールのために、「フェアウェイ」とはフェアウェイの長さかそれ以下に刈られたジェネラルエリアの芝の区域を意味する。
球がフェアウェイまで届かないコース上で紛失したり、あるいはフェアウェイまで届かないコースの境界を最後に横切ったと推定される場合、フェアウェイの基点はフェアウェイの長さかそれ以下に刈られたプレーしているホールの芝の通路やティーイングエリアであることがある。
- ・ホールから球の基点を通る直線(加えて、その直線から外側へ 2 クラブレングスの範囲)
- ・ホールからフェアウェイの基点を通る直線(加えて、その直線からそのフェアウェイ側へ 2 クラブレングスの範囲)

◆競技の条件

1. ゴルフ規則・・・日本ゴルフ協会ゴルフ規則および本競技ローカルルールを適用する。
2. 使用球・・・プレーヤーの使用球は日本ゴルフ協会発行の最新の公認球リストに記載されているものでなければならない。本条件の違反は、競技失格とする。
3. 練習ストロークの禁止・・・ホールとホールの間では、プレーヤーはプレーを終了したばかりのホールのグリーン上やその近くでは、どのような練習ストロークも行ってはならない。但し、指定練習グリーンのパットングを除く。本条件の違反は、次のホールに2罰打を付加。
4. プレーのペースについて・・・前の組との間隔が1ホール以上空いた場合、その組全員に2罰打を課す場合もある。
5. プレーの中断 (1)通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)についてはゴルフ規則 5-7b,c,d に従って処置をすること。
(2)危険を伴う気象状況(落雷や高温など)のための委員会の決定によりプレーが中断となった場合で、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間にいたときは、各プレーヤーとも委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを中断しなければならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない、その後、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。

本条件の違反は、競技失格とする。

(3)プレーの一時中断及び再開の合図について・・・

- I. プレーの一時中断: 放送して通知する。
- II. 危険を伴う気象状況の為に即時プレー中断: サイレンで通知する。
- III. プレーの再開: 放送して通知する。 ※ハーフ終了をもって競技成立する場合もある。

裏面に続く

◆注意事項

1. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、スタートに掲示して告示する。
2. スタート時刻5分前に必ずティーイングエリアに待機すること。
3. 練習は指定練習場にて行い、打ち放し練習場では備え付けの球を使用し、1人1コイン(30球)を限度とする。
4. ギャラリーのコース内への立ち入りは原則禁止とする(1, 10のスタートや9, 18のグリーン周辺のみ可)。
5. ラウンド中は携帯電話の使用を禁止する(緊急時のためコース内の持ち込みは可)。
6. 暑さ指数(WBGT)が 33 または気温が 37℃以上に達して競技委員がプレー続行を危険と判断した場合や、落雷等プレーの続行が不可能であると判断した場合、ハーフのスコアで順位を決定する。

【ドレスコードについて】

1. クラブハウス内、プレイ中問わずシャツは必ず「タックイン」してください。
2. 来場時はジャケットやブレザーを着用をお願い致します。
3. ハーフパンツ着用時はくるぶし丈以上のソックスを着用してください。

以上 競技委員会